

2001年2月15日発行
〒134-0088 東京都江戸川区西葛西1-15-9
tel. 03-3686-4657 fax. 03-3877-7771
e-mail. hoshiba@ain.co.jp
発行責任者 干場貴二

今年は暖冬などという予報もありましたが、残念ながら寒い日が続いています。しかも異常なほど雪も降ります。どうなってるんでしょう。

それはとはともかく、1月20日の土曜日、東京とは思えないほどの雪と風で、まさに吹雪という状態でした。朝、スタッフの中では、「こういう天気だから開店休業ね。」などという声も上がっていました。実際、時間が経つにつれて風が強くなり、雪も5~10cmと積もってきました。ところが、10時には予約通りの患者さんの顔ぶれ。10時半になっても、11時になっても予約通り来院されます。結局キャンセルは1人だけというすばらしい来院率でした。

私たちの診療室には1日何十人も患者さんが来院されます。ともすれば、作業で終わってしまう診療もないわけではありません。しかし、本当に重要なのは一人一人の患者さんであって、感謝をしながら診療しなければならぬと改めて考えさせられた雪になりました。

とは言え、寒い日が続きますから皆さんお体にはくれぐれもご留意のほどを。

スケーリング

ふだんの診療で、よく「歯石を取りましょう」と言われることがあると思います。最近ではテレビコマーシャルなどで盛んに叫ばれていますのでご存知の方も多いと思いますが、いわゆる歯槽膿漏(しそこのうろう)の誘発因子にもなると言われているものです。歯ぐきの治療というのは、このような汚れを取っていき、清潔な状態を維持させていくことです。

このように、歯石を取ることを専門用語で「スケーリング」と言います。スケーリングには大きく二つの方法があり、「超音波スケーラー」と呼ばれる器具を用いる方法と「手用スケーラー」という器具で取っていく方法です。



超音波スケーラーは先端部が微振動を起こし、水をかけながら取っていきます。歯を削っているのではないかと思われがちですが、健全な歯質が削れることはありません。この器械は、何と言っても目に見える大きな歯石を取るには大変有効です。しかし、歯ぐきの下に付いてしまったような歯石を取るのは難しく、小回りもききません。

これに対し、手用スケーラーは、術者自身が手の感覚と指の感覚で取っていく方法です。もちろん小回りもきき、歯石をピンポイントで除去することができます。しかし、大きな歯石を取るには大きな力が必要となり、患者さんにも苦痛を与える結果となります。

これらの方法は、歯石の付き方や状態によって併用してやっていくもので、どちらかを選択すると言うものではありません。「私は超音波でやってください」などとリクエストしないでくださいね。

在宅診療部だより

前回もご紹介しましたが、高齢者、特に寝たきりの方に対する口腔ケアは大変注目されています。その理由は、高齢者の直接的死亡原因の上位には肺炎があり、口腔ケアによってこの肺炎を予防できるということが分かったからです。口という器官はどうしても「ものを食べる入り口」ととらえられてしまっていますが、「息をする入り口」でもあるのです。

若い方ではあまり起こらないのですが、高齢になるにつれ口の中のものが肺に入ってしまうことが多くあります。水を飲んだりするときに、「ごほっ、ごほっ」とむせるようでしたら要注意です。特に口の中を清潔にするようにしてください。

(在宅診療部 五島朋幸)

お知らせ

2月21日~2月28日 院長不在

ご迷惑をおかけしますが宜しくお願い致します。

患者さんのお話

患者さんの中にはすごい人もいます。そのうちのお一方を紹介しましょう。

高木巖さんはよく海外に行かれています。ある時はアメリカ、ある時はスウェーデン、そしてある時はフィンランド。何かの編集をされているということでしたが、「いったい何をされている方なんだろう?」とっていました。ある日の診療後、「先生どうぞ。」と言って渡されたのは2冊の写真集のような雑誌。カラー写真でしっかりとした装丁、その表紙には「SWEDEN」「FINLAND」という文字が踊ります。発行はそれぞれの国の大使館ですが、発行人はなんと「高木巖」。

あまりこのような本は読んだことがなかったのですが、それぞれの国の生活や思想が、特集形式のインタビューや全ページカラー仕上げの写真からしっかり染み込んできます。ついつい読み始めてしまい、2冊とも読破してしまいました。おかげで北欧の生活に夢をはせる毎日です。

待合室に置いておきますので、ぜひ皆さんもお手にとって見て下さい。一般の書店でも購入できるそうなので定期購読でもしてみませんか。

- ・ EXCELLENT FINLAND SISU
- ・ EXCELLENT SWEDEN CARING

ところで、先月ご紹介した蒼樹山関、みなさん応援して頂きましたか? ご声援のおかげもあり、十勝五敗という好成績で一月場所を終えました。来場所は十両上位として活躍してくれると思います。来場所も宜しくお願い致します。

診療のお話

保険と自費の違い 2

今回は保険の歯と自費の歯についてご説明していきたいと思います。

まずは前歯。以前は金歯を前歯に入れたりもしましたが、最近では白い歯を入れていきます。この歯は、保険ではプラスチックのものになってしまいますが、自費では金属の下地にセラミックを焼きつけたものが可能になります。このような歯をメタルボンドと言います。

このメタルボンドは、保険のものに比べ審美性も勝りますが、何と言っても耐久性の差は歴然です。ただし、これ自体がしっかりしているため、ご自分の歯が弱いと取れてしまったり、自分の歯の方が割れてしまったりすることがあります。前歯だから良いもので作るというだけでなく、ご自分の歯の状況を担当医に聞いて判断して下さい。

さて、このメタルボンド、「ほしば歯科医院」では90000円に設定しています。ブリッジのように、1本歯を抜いてしまい、両側に架けてしまうようなケースでは3本分ということになります。

また、奥歯に対してはこのようなメタルボンドを希望される方もいますが、金属的な特性を考えゴールド(いわゆる金歯)を希望される方がいます。これは保険で製作する銀歯(パラジウム合金)より柔らかく、口の中の噛み合わせの変化には対応しやすいのが特徴です。部位と大きさによって35000円~70000円に分けられています。ご希望の方は料金を担当医に確認してみてください。

〔文責 五島〕

ご意見はこちら

ほしば歯科医院へのご意見、ご感想、その他何でも受け付けております。どのような方法でも結構ですからお気軽におっしゃってください。

電話 03-3686-4657

ファックス 03-3877-7771 (院長直通)

e-mail hoshiba@ain.co.jp (干場)

tomogoto@ra2.so-net.ne.jp

(在宅診療部; 五島)

編集後記

このニュースレターもついに第5号、そろそろ皆さんからの投稿も欲しいところです。メールで送って頂いても結構、ファックスや直接原稿を持って来て頂いても結構です。もちろん匿名希望でもいいです。ぜひ、双方向の場になれば良いですね。

また、インターネットをご使用の方が多い世間ですので、ほしば歯科医院のメーリングリストも考えています。開設したらご案内いたしますね。(T)

コラム

SISU

このページで特集をさせてもらった高木巖さんの雑誌のタイトルです。目標に向かって粘り強く、不動さ、寛容さをもって頑張ることを意味したフィンランド魂のこと。ところで大和魂は何処へ。